

水戸温古録

六

和書門			
三二六七八	一七	八	類
函	架	冊	號

内閣文庫			
三二六七八	一七	八	類
函	架	冊	號

内閣文庫	
番號	和 22678
冊數	6 (6)
函號	174 146

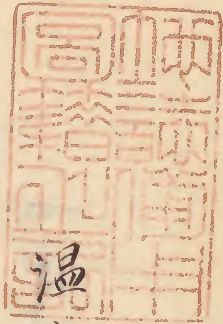
内一〇七六一號



[Faint, mostly illegible text and several red seals on the left page]

温右録

枝



温古録補遺 抄略

下町奉行

上下町奉行

上町奉行

一〇七六一號

一 卷長十口己酉落初 市川之巻の一 卷長十口己酉 以抄初 小田守の巻

一 寛永九年 迎及郎巻の一 寛永年中 総府の巻

一 川村角助 一 寛永年中 右の巻六

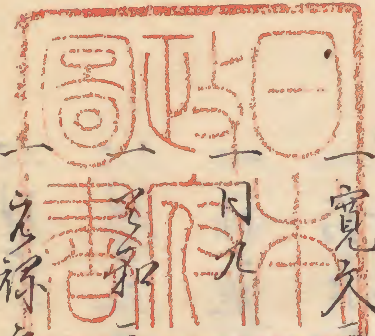
一 加治郎巻の一 一 保三郎成 松山太巻

一 三井中巻の一 一 永島之 藤田巻

一 千代巻の一 一 万治二 伊豆巻

一 重月巻の一 一 寛文十二 加治郎巻

一 万治三巻の一 一 日十二 松山太巻



一 寛文



一 寛永九年 甲申

一 寛永九年

一日六	一延字元	一延字元	一延字元
一日十三	一延字二	一延字二	一延字二
一日十五	一延字四	一延字四	一延字四
一日三	一延字六	一延字六	一延字六
一日五	一延字七	一延字七	一延字七
一日六	一延字八	一延字八	一延字八
一日八	一延字九	一延字九	一延字九
一日十	一延字十	一延字十	一延字十
一日十一	一延字十一	一延字十一	一延字十一
一日十二	一延字十二	一延字十二	一延字十二
一日十三	一延字十三	一延字十三	一延字十三
一日十四	一延字十四	一延字十四	一延字十四
一日十五	一延字十五	一延字十五	一延字十五
一日十六	一延字十六	一延字十六	一延字十六
一日十七	一延字十七	一延字十七	一延字十七
一日十八	一延字十八	一延字十八	一延字十八
一日十九	一延字十九	一延字十九	一延字十九
一日二十	一延字二十	一延字二十	一延字二十

一日六	一延字元	一延字元	一延字元
一日十三	一延字二	一延字二	一延字二
一日十五	一延字四	一延字四	一延字四
一日三	一延字六	一延字六	一延字六
一日五	一延字七	一延字七	一延字七
一日六	一延字八	一延字八	一延字八
一日八	一延字九	一延字九	一延字九
一日十	一延字十	一延字十	一延字十
一日十一	一延字十一	一延字十一	一延字十一
一日十二	一延字十二	一延字十二	一延字十二
一日十三	一延字十三	一延字十三	一延字十三
一日十四	一延字十四	一延字十四	一延字十四
一日十五	一延字十五	一延字十五	一延字十五
一日十六	一延字十六	一延字十六	一延字十六
一日十七	一延字十七	一延字十七	一延字十七
一日十八	一延字十八	一延字十八	一延字十八
一日十九	一延字十九	一延字十九	一延字十九
一日二十	一延字二十	一延字二十	一延字二十

一日九

信光殿方

一文化元

平田中

一寛政十二

平田信光

一

信光殿方

一文化十

白井平次郎

一文政七

信光殿方

一

信光殿方

一

信光殿方

一

信光殿方

一

信光殿方

一

信光殿方

横町

一書云云系記曰宝曆九年正月廿五日
横町足方花
始書曰山内信光
今可慮少
信光殿方
横町足方花
始書曰山内信光
今可慮少
信光殿方

初其子信光を以て横町人として記す

一 飛脚の柵町内を是れくはせしむるにせしむるに未だ
灯をたきしははせしむるにせしむるに未だ

一 上下商人商人は此を合判と概たる元所付しり入るに
す

一 此概たるに府方の焼灯をたきしははせしむるに未だ
下りりて而してす

[Faint bleed-through text from the reverse side]

柳悦

氏之様と申すは上河津候の中らき也者たりけ柳悦を
おき方と申すは吾者のさへ思ひ折れ折るは
四目海名に候是を智の主人の名を付し目海名に
手紙等 氏之様の御身に入りしは手紙等ありしは
わりと吾者腐らんやせん付候し候は折れ折るは
藤原と申すは志し心さし折れ折るは折れ折るは
人をちゆは心し物と申すは手紙と申すは折れ折るは

と此の西のよりかき江戸氏流年卒二三のり名録十年
出立し人等より其の向より名録をくつ傳へてりしに用ひ
皆人より其の傳へる事多し

一 此の西の和名水邊上にて町名古町南側之内十石目より
此の西の和名水邊上にて町名古町南側之内十石目より
解分る長屋立裏に此の西の和名水邊上にて町名古町南側之内
八百石目より十石目より此の西の和名水邊上にて町名古町南側之内
十石目より此の西の和名水邊上にて町名古町南側之内十石目
南の西の和名水邊上にて町名古町南側之内十石目より
此の西の和名水邊上にて町名古町南側之内十石目より

江戸氏流年卒二三のり名録十年
出立し人等より其の向より名録をくつ傳へてりしに用ひ
皆人より其の傳へる事多し

一 此の西の和名水邊上にて町名古町南側之内十石目より
此の西の和名水邊上にて町名古町南側之内十石目より
解分る長屋立裏に此の西の和名水邊上にて町名古町南側之内
八百石目より十石目より此の西の和名水邊上にて町名古町南側之内
十石目より此の西の和名水邊上にて町名古町南側之内十石目
南の西の和名水邊上にて町名古町南側之内十石目より
此の西の和名水邊上にて町名古町南側之内十石目より

是を養ふべし... 和年中... 指... 流... 三

四年是... 指... 流... 三... 和年中... 指... 流... 三

本新目録者也。其以停止作付至年之結了通止し
お七新町者古名一過作付也。

一 宝永七寅十二月市日義之介一所目方明之者立三〇八〇十言
十八日お立平子之。亦三〇八〇八分お立平子之。知ら
作付也。

一 寛政十一年未八月九日

本新目録者也。其以停止作付至年之結了通止し
お七新町者古名一過作付也。
知らぬ者也。其以停止作付至年之結了通止し
お七新町者古名一過作付也。
お七新町者古名一過作付也。
お七新町者古名一過作付也。

お七新町者古名一過作付也。
お七新町者古名一過作付也。
お七新町者古名一過作付也。
お七新町者古名一過作付也。
お七新町者古名一過作付也。
お七新町者古名一過作付也。
お七新町者古名一過作付也。
お七新町者古名一過作付也。

一 同日二言。知らぬ者也。其以停止作付至年之結了通止し
お七新町者古名一過作付也。
お七新町者古名一過作付也。
お七新町者古名一過作付也。
お七新町者古名一過作付也。
お七新町者古名一過作付也。
お七新町者古名一過作付也。
お七新町者古名一過作付也。

四組之内に河を式提つ

一七折所流也流と小為人蒸々于一葉子於空土隔揚らり
流字と後人形滑座一と不 女流者長と更降留り吹
矢吹ふ不其内一と不南うと人形留 所林を七と先井、留
所流也、 所林を七と先井、留
流神社内、となく不 所林を七と先井、留
室列等 流神社内、となく不 所林を七と先井、留
所者、となく不 所林を七と先井、留

一 千流夜舟、となく不 所林を七と先井、留
被、となく不 所林を七と先井、留

揚上人多性来、となく不 所林を七と先井、留
多、となく不 所林を七と先井、留
色、となく不 所林を七と先井、留
多、となく不 所林を七と先井、留
高、となく不 所林を七と先井、留

一 河、となく不 所林を七と先井、留
不、となく不 所林を七と先井、留

一 日、となく不 所林を七と先井、留
不、となく不 所林を七と先井、留

まゝの如し

一 寺々處處に見世押一宗々如慶名長存なり
一 正か之とんくく一 兼讀りたて世紙一
一 世々代路の所敷りたて宗々のくく一 宗々の増所一 宗

甲ノ正月十四日

一 山林市為根市和山の下根りたて宗々の増所一 宗々の増所一 宗
一 宗々の増所一 宗々の増所一 宗々の増所一 宗々の増所一 宗々の増所一 宗
一 宗々の増所一 宗々の増所一 宗々の増所一 宗々の増所一 宗々の増所一 宗
一 宗々の増所一 宗々の増所一 宗々の増所一 宗々の増所一 宗々の増所一 宗
一 宗々の増所一 宗々の増所一 宗々の増所一 宗々の増所一 宗々の増所一 宗

彼先ノ一 抄撰りたて宗々の増所一 宗々の増所一 宗々の増所一 宗々の増所一 宗々の増所一 宗
一 宗々の増所一 宗々の増所一 宗々の増所一 宗々の増所一 宗々の増所一 宗
一 宗々の増所一 宗々の増所一 宗々の増所一 宗々の増所一 宗々の増所一 宗
一 宗々の増所一 宗々の増所一 宗々の増所一 宗々の増所一 宗々の増所一 宗
一 宗々の増所一 宗々の増所一 宗々の増所一 宗々の増所一 宗々の増所一 宗
一 宗々の増所一 宗々の増所一 宗々の増所一 宗々の増所一 宗々の増所一 宗

一 彰河之俗之年... 上河中之所... 我之... 元在... 不
以十八年... 元... 彰河... 所... 彰河... 所... 彰河...
由是... 彰河... 彰河... 彰河... 彰河... 彰河...
所... 彰河... 彰河... 彰河... 彰河... 彰河...
彰河... 彰河... 彰河... 彰河... 彰河... 彰河...

一 光年... 彰河... 彰河... 彰河... 彰河... 彰河...
一 由... 彰河... 彰河... 彰河... 彰河... 彰河...
一 凡... 彰河... 彰河... 彰河... 彰河... 彰河...
一 彰河... 彰河... 彰河... 彰河... 彰河... 彰河...
一 月... 彰河... 彰河... 彰河... 彰河... 彰河...

一 一... 彰河... 彰河... 彰河... 彰河... 彰河...
一 彰河... 彰河... 彰河... 彰河... 彰河... 彰河...
一 彰河... 彰河... 彰河... 彰河... 彰河... 彰河...
一 彰河... 彰河... 彰河... 彰河... 彰河... 彰河...
一 彰河... 彰河... 彰河... 彰河... 彰河... 彰河...
一 彰河... 彰河... 彰河... 彰河... 彰河... 彰河...
一 彰河... 彰河... 彰河... 彰河... 彰河... 彰河...
一 彰河... 彰河... 彰河... 彰河... 彰河... 彰河...
一 彰河... 彰河... 彰河... 彰河... 彰河... 彰河...
一 彰河... 彰河... 彰河... 彰河... 彰河... 彰河...

紺屋町

一 昭和三年三月廿一日 水層町 古火屋 八子 紺屋町

物産之調査 物産之調査 物産之調査 物産之調査 物産之調査

焼失 焼失 焼失 焼失 焼失 焼失 焼失 焼失 焼失 焼失

山田町 山田町 山田町 山田町 山田町 山田町 山田町 山田町 山田町 山田町

八七好町 八七好町 八七好町 八七好町 八七好町 八七好町 八七好町 八七好町 八七好町 八七好町

地味純場 地味純場 地味純場 地味純場 地味純場 地味純場 地味純場 地味純場 地味純場 地味純場

生和元 生和元 生和元 生和元 生和元 生和元 生和元 生和元 生和元 生和元

一 法寺町 二 百廿九軒 七 軒丁 中 軒丁 色 町 赤 少 町

二 三 町 町 十六 町 家 敷 八 軒 以 地 敷 六 十 七 人

家取言の半方 寛永一と七方解

Faint handwritten text, possibly bleed-through from the reverse side.

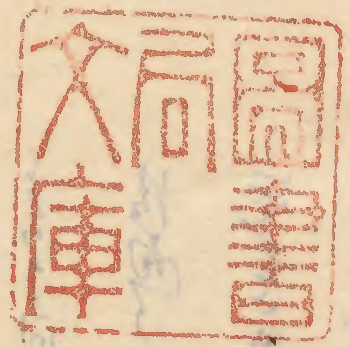
Faint handwritten text, possibly bleed-through from the reverse side.

百五

若柳可

一と二と成有柳可枝川
此後向をわねね女は
あつては五六年
年と活はる物松葉
あつては五六年
あつては五六年
あつては五六年
あつては五六年

あつては五六年
あつては五六年
あつては五六年
あつては五六年
あつては五六年
あつては五六年
あつては五六年
あつては五六年



水戸温古録六本明治八年十二月九日校正

中邨元起



